

や 広報たしる

No. 398

昭和61年10月号

田代町企画管財課

2,000部発行

田代町町民憲章：わたくしたち田代町民は，すすんで学び教養を高め，文化の町をつくります。



柿 の 出 荷

人 口 の う ご き

昭和61年 9 月 1 日現在

住民基本台帳人口	前月に対する増減
男 1,970 人	△ 8 人
女 2,189 人	0 人
計 4,159 人	△ 8 人
世帯数 1,449 戸	△ 3 戸

むらづくり一品運動「柿 初出荷」

むらづくり一品運動推進作物の「柿」を農家間で3年4年前から試作していましたが，9月11日初出荷が行われ5人の農家が約10畝を持寄り，さっそく市場へ持って行き来年の出荷指導を受けました。その結果，「無傷で1個200円以上の「柿」を9月中旬まで出荷すると価格需要面で大きな期待が持たれる」ということで，来年以降の培栽管理を徹底したいと意欲を持たせました。

75歳以上の
お年寄り342人

男～124人
女～218人

9月15日

88歳以上の



大久保モイさん

西中郡 88歳



大浦義彦さん

下 88歳



永山義盛さん

南松園 89歳



谷川カ子マツさん

南松園 89歳



後迫次郎右衛門さん

南松園 88歳



井手口正義さん

上原 88歳



山下ツルカメさん

山下 88歳



鈴十四郎さん

東中郡 88歳



山田フヂさん

盤山 88歳



藤崎ハルさん

久木野 88歳



宮原栄熊さん

鶴戸野 88歳



老崎フリさん

南松園 88歳



山下ツマさん

内ノ牧 88歳



窪スナさん

新田 88歳



松ノ下キクさん

中尾 88歳



川畑ウトさん

盤山 88歳

敬老の日

お年寄り30人を慰問

九月十五日は「敬老の日」でした。町では、多年にわたり、社会につくして来られた八十八歳以上の長寿の家庭を訪問しました。
本年は、九月十二日に三十名のお年寄りの家庭を、町議会、婦人会等の代表により長寿を祝って記念品を贈り慰問しました。
本町では、七十五歳以上のお年寄りが三百四十二人（男二百二十四人、女二百十八人）で昨年に比べ二十四人多くなっています。また、八十八歳以上は、昨年より九人多い三十人でした。

日本人の平均寿命は大幅に延びている現在、長い老後をどう生きるか。〃人生八十年〃時代をむかえて、わたしたち一人ひとりが真剣に取り組まなければならない問題です。



馬庭ケサマツさん

上原 95歳



柴立 97歳



原ノ後アキさん

西中郡 93歳



半田キノさん

南松園 94歳



西元ケサガメさん

中尾 95歳



石原虎駄さん

久木野 95歳



湯通堂ハルさん

西中郡 91歳



安楽ハルギクさん

南松園 92歳



小牧義範さん

馬場 93歳



山崎タ子さん

南松園 93歳



柳田フヂさん

上柴立 89歳



山崎ミツさん

柴立 89歳



武田ケサノさん

岩崎 89歳



中村ソデさん

池野 90歳



老人福祉センター

交通安全教室

「老人の方々がぜんちゃんと交流」

交通安全教室が、九月八日川原保育園と老人福祉センターで行われ、「ぜんちゃん」と交通事故のこわさや交通ルールについて勉強しました。

「ぜんちゃん」は、昨年も川原保育園と大原小学校に行っていますが、今回は、特に老人の方々を対象に老人福祉センターで行われました。

交通安全教室では県警本部の係長さんが、鹿児島弁で老人の方々に交通ルールや、横断歩道の渡り方などわかりやすく説明された後、二人の婦人警察官による、ゲーム（ドングリコロコロの唄、数字か

昭和六十年度は、田代町にたばこ消費税として千三百六十万四千円が収入として入りました。二百円のたばこ一箱で、国に六十六万四千円、県に二十三万四千円、町に四十一万四千円が還元されます。

たばこは町内でかきましょう。

むらづくり一品運動

管理作業

- 一、土壌管理
秋口の雑草の成長は早い、雑草がしげつていけば樹冠下の除草、樹間の草刈を実施します。
- 二、バンド誘殺（ヘタムシ）
古布等を主枝にまいておき、幼虫が越冬のため潜伏するのを誘いこみ、冬にこれをはずして虫もろとも焼却します。
- 三、新植準備
植付け準備は年内に植付、（十二、上）られるよう早目に準備します。永久樹の植栽距離は七メートルとするが、三、五メートル間に深さ六十センチ程度の穴をほり、苦土石灰、ようりん（各一鉢）、堆肥（二十鉢）を入れ盛土をする。土壌病害予防のため土壌消毒を実施します。
- 四、全面消毒法（十坪当三十鉢）：クロールピクリンを深さ十五センチ二十センチに三十センチ間隔に注入。

田代分校閉校記念事業 すすめられる

田代分校は昭和六十年四月生徒募集が停止され、六十二年三月で三十九年の歴史をとり終ることになりました。

昭和二十三年四月根占高等小学校田代分校をスタート以来、二十九年に田代高校に独立、四十五年に県立に移管、南大隅田代分校となり現在に至っているところです。この間約二、二〇〇名の卒業生を世に送り出し、地元はもちろん、全国各地で活躍されているところと

田代分校の閉校に当り卒業生のみさんの御理解と御協力を賜り「深き緑の田代台」で青春の日々を送った当時の思い出や業績を後世に語りつぎ、残すため、閉校記念事業がすすめられています。

本事業をすすめるため経費の捻出を卒業生各位にお願い申しあげていくところです。

目標額、三〇〇万円達成のため、御協力をお願い申し上げます。

尚、記念行事の記念式典は六十二年三月三日の予定です。その他、記念碑建立、同窓会名簿、記念誌の発行等です。



田代分校

田代町秋季畜産品評会

グランドチャンピオン賞

育種高等登録群

ふじざくら
ふじざくら
ふじざくら

宮園敏和

した。

町長賞、なんぐう農協長賞ほか各部門別の成績は、次のとおりです。

町長賞

ありたか 宮園敏和 中村
なんぐう農協長賞 久保 豊 鶴園

一部
まゆの 久保 豊 鶴園

優等
まゆの 久保 豊 鶴園

とめこ 川路伸一郎 猪鹿倉

きよみ 若松秀雄 猪鹿倉

ほまれひめ 宮園清造 中村

あきこ 猪鹿倉 猪鹿倉

あきこ 猪鹿倉 猪鹿倉

ふくえの 西元文雄 下

みよはる 中村清吉 内ノ牧

きみこ 上吹越 下

かつさき 平岡直敏 下

二部
ふじざくら 二宮園国美 中村

なほし八 湯ノ谷清秀 長谷

みちこ九の四瀬口末吉上柴立

ゆたかの八 原沢 幸 原沢

ひろみ六 早瀬益男 早瀬

とおひめ 猪鹿倉 猪鹿倉

一部
あきこ 小路 享 早瀬

かつみ七 小園五男 早瀬

つるひめ二 近川盛宗 辺志切

なつね 山口金造 猪鹿倉

まさみ八 今村忠一 上原

まろえい 二十五小園幸二上柴立

第十にしくに 水流幸一 鶴園

三部
優等
ふくえ八十八宮園敏和 中村

ふくとみ 西元文男 下

すなひめ 山元砂雄 猪鹿倉

たけひろ 宮園虎男 中村

ときよし 時吉五男 猪鹿倉

いなよし 鳥淵光義 鳥淵

ふくひめ 麦生田次男 表木

ことはな 川路広信 猪鹿倉

一部
いちふく上久保セツ子 西中郡

つぎえ 猪鹿倉 猪鹿倉

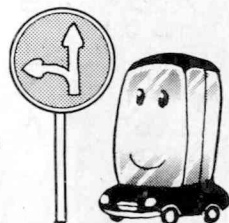
のぶこ 土器園時夫 鶴園

第四きちめ上吹越 下

かめこ 辺志切時夫 辺志切

道路標識週間

10月7日～12日



全国道路標識週間
(10月6日～12日)

全国一斉に「道路標識週間」が実施されます。

道路標識の果たす役割を道路利用者の皆さんに理解してもらうほか、道路標識に対する関心を高め、いただくことを目的とするものです。

何げなく利用している道路に標識がなかったらどうなるでしょう。道路の案内標識はドライバーや歩行者のガイド役であり、適切な情報を提供するためのものです。つまり私達が行きたい目的地への方向や距離がわかり、自分の走っている道路がまちがっていないか確認ができます。

道路標識は、このように大切な役割を持っています。県と町では標識の点検整備に努力しています。皆さんのご意見やご要望等お聞かせください。問い合わせ先、大根占土木事務所、又は田代町役場建設課へ。



講演「農村の健康管理、健康づくりをみんなで」

田代町健康まつり大会が、九月二十七日、開発センター大ホールで行われました。健康まつり大会は、「この大会を通じて健康についての意識を高めるため」行われましたが、当日は婦人がほとんどで、約四百五十人が参加しました。

当日は、健康まつり大会の標語として住民から募集した二十五点の中から、西大原部落の坂口勇夫さんの「健康は幸福がもたらす宝物」が特選として選ばれたほか、集落ぐるみで、健康づくりに努めて、各種検診の受診率が高い、東ノ

また、「農村の健康管理、健康づくりをみんなで」と題して、千葉大学教授で医学博士の内田昭夫先生の講演が行われ、日本で一番恐れているガンを取り上げ、「自分の健康状態を知るため、自分自身で疲れやいたみ等を認識するとともに、自分自身でわからない健康状態を検診で医学的に検査することが、大事である。特に、ガンはいたみが自分自身でわからなく、自分自身でわかっていない例が多いため集団検診等で早期に発見するこ

田代町健康まつり大会

標語「健康は幸福がもたらす宝物」

原部落、原沢部落、西大原部落が表彰されました。体験発表では橋ノ口部落の山下保さんと盤山部落の基和代さんが発表され、山下さんは、「病

い床から貫け出し新たな病気に発憤して、六十歳代からスポーツ、趣味を通じて身体、精神の健康づくりに努力している。」また、基さんは「主婦の知恵を生かし、手作りのおやつや調理を通じて我家の健康づくりをしている。」等、発表されました。

また、「農村の健康管理、健康づくりをみんなで」と題して、千葉大学教授で医学博士の内田昭夫先生の講演が行われ、日本で一番恐れているガンを取り上げ、「自分の健康状態を知るため、自分自身で疲れやいたみ等を認識するとともに、自分自身でわからない健康状態を検診で医学的に検査することが、大事である。特に、ガンはいたみが自分自身でわからなく、自分自身でわかっていない例が多いため集団検診等で早期に発見するこ



戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



訂正

先月号の中で森林組合総会をご紹介しましたが、「感謝状受賞者」の故、隈元功さんが掲載もれでした。

十月の納税は
町、県民税及び固定資産税の第三期分です。
※税金はみなさんの幸せのために使われています。

とです。ガンは、早期に発見すれば殆どなおるのでぜひ、すすんで検診していただきたい。最後に一つでもよいから目標を立て、酒は適量にして、必ず一週間に一日は、休肝日を設ける等、実践していく事が大切である」としめくられました。

「篤志寄附金」
田代町社会福祉協議会

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚くお礼申し上げますと共に御冥福をお祈り致します。

伊藤 和雄 様
鳴児 安美 様
池野部落の萩 一矢さんから「社会福祉のために役立てて下さい」と、社会福祉協議会に多額の御寄附を賜りました。このお金は、茶亭庭の「幸運のツボ」に観光客が幸運を祈って投げ入れたものだそうです。

町民一同と共に、厚くお礼申し上げます。

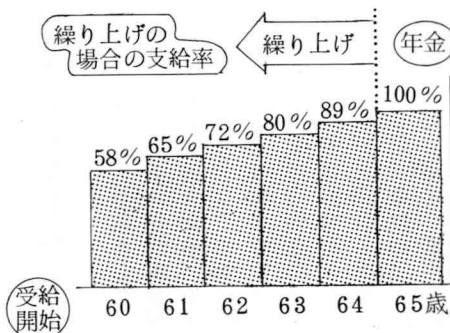
ちょっと年金の繰り上げ支給 まって

厚生年金 あるいは
保険期間 要注意

老齢基礎年金は、原則として六十五歳から支給されることになっていますが、自分の健康に自信がもてない、早く年金を受けたいときは、六十歳になれば繰り上げて受けることができます。

しかし、その場合、年齢によって減額され、本来受けるべき六十五歳に達してもその減額された年金額は、もとにもどりません。

特に、過去に厚生年金保険に加入したことがある人は、六十歳から特別支給の老齢厚生年金を受けることができますが、老齢基礎年金の繰り上げ支給を受けると、老齢厚生年金は、六十五歳まで支給が停止されます。老齢基礎年金を請求するときは、後悔のないよう慎重にしましょう。



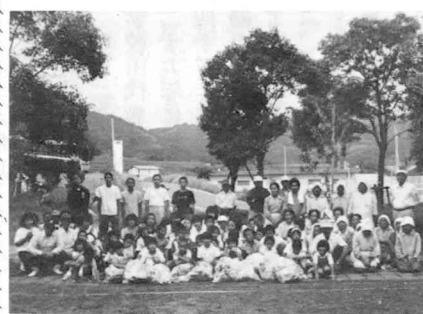
厚生年金保険の加入期間がある人が
62歳から繰り上げ支給を受けた場合

60歳退職	62歳	65歳
特別支給の老齢厚生年金	(支給停止)	老齢厚生年金
		老齢基礎年金(繰り上げ支給)

花瀬地区のお年寄りが 子供たちとふれあい

九月二十一日、花瀬地区むらづくり協議会では、お年寄りとお孫さんたちのふれあい事業を実施しました。

当日は、あいにく小雨模様でしたが、約百人の子供やお年寄りが参加し、まず、それぞれの集落内の空きカンや紙くずを拾って歩き、花瀬公園に十一時に集合しました。その後、各集落対抗ゲートボール



花瀬地区、お年寄りと子供たち

「あきカン」を投げ捨て ない運動を!!

道路脇を歩いてみると、コイラやジュースなどのあきカンやあきビンがあちこちに散乱しています。

このあきカン投げ捨て防止の運動は、いふん以前から始められていますが、その成果はまったくあがっていません。

これは一人一人の心がけや良心のなさが生み出す行為にすぎません。

特に車からの投げ捨ては増加の傾向にあり、今、投げ捨

てたようなあきカンが道路をころがっていることがあります。自分の庭や畑などに投げ捨てられるとどんな気持ちになるでしょう。

今一度、一人一人が考えなおしてみませんか。

部落や団体であきカン投げ捨て防止運動をおこして、あきカンの散らかっていない、美しい町づくりにとりくんでみてはどうでしょうか。

町民が一丸となってこの運動に参加し、人に迷惑をかけない、やさしい心がけと良心で町をきれいにしましょう。

昭和61年度 第3次自衛官募集

- 募集期間 (1) 男子 昭和61年10月1日から昭和61年12月31日まで
- 応募資格 採用予定月の1日現在で18歳以上25歳未満の日本国籍を有する者で、学校教育法に定める中学校卒業程度以上の学力を有し、かつ自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者。
- 試験科目 筆記試験(国語(作文を含む)・数学・社会)、身体検査、適性検査及び口述試験

教育だより

給食誕生会

大原小学校

大原小学校では、毎月一回「給食誕生会」を行っています。これは、その月の誕生月の児童が職員室に集まって、校長先生や教頭先生、給食センターのおじさん達と、一緒に給食を食べるという学校行事です。(年2回は、体育館でみんなで食べます。)



(6月、全体での誕生会)

学校給食の目標は、(1)日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養う。(2)学校生活における明

る社会的性を養う。(3)食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。(4)食糧の生産、配分、消費について正しく理解する。の四点におかれ各学級では、毎日の給食指導が行われています。そこで、このことをもっと発展させたのが、本校の給食誕生会です。



(合唱や合奏で祝ってくれます。)

本校は、年々児童が減少し今年度は、全校で48名です。いつも身近に接し、親しみある会話をしている先生達と子どもたちですが、この給食誕生会のときは、また違った味わいがあります。

「好き嫌いはないですか。」
「毎日の牛の世話、感心だね。」
と、色々の話が出てきます。校長先生方と食べるというところで、ちょっと緊張もありますが、早く自分の誕生月がこないかと、みんな心待ちにしています。

五年 那須みづる
きょうの給食誕生会では、教頭先生の左どなりだったの、なんだか、はずかしいでした。でも、右どなりが三年のくわはたえりさんだったの、よかったなあと思いました。教頭先生に何か聞かれたときには、胸がドキドキしました。でも、教頭先生がおもいましたので、とてもたのしかったです。教頭先生と仲よくなれたのでよかったです。
9月給食誕生会から

六年 山下 隆之
ぼくは、給食誕生会に参加して、朝ごはんのことを言われました。先生方から、「きちんと食べて来なさいよ。」と言われたので、これからは注意されないようにしたいと思います。

思い出の彼岸花

大原中学校

「赤い花なら蔓珠沙華…」と歌の文句にもなっている彼岸花。大原の秋はこの赤い花が始まります。大原のあちこちの水田の畦や土手は赤く色どられます。これがまわりの山々と調和して、特に夕暮れはなんとも言えぬ風情があります。



全国小中学生俳句大会
出品作品より・彼岸花特集

ところが、この彼岸花の里大原も基盤整備事業が始まり今年度は馬頭観音前の水田まで進んできています。「このままでは大原の彼岸花が消えてしまう」と心配した昨年の三年生(現在高一)とその父母で土曜の午後集合。卒業記念に共同作業で工事前の畦にかけ球根を校庭の南側土手に移植したのは去年の十月のことでした。

「来年の秋、彼岸には咲いてくれよ。その時は卒業しているが必ず見にくるぞ。遠い人には写真を送ろう」と、心を込めて植えつけるのを広報紙に紹介して一年。うまく咲いてくれるだろうかと思ひながら心配していましたが、九月

「来年の秋、彼岸には咲いてくれよ。その時は卒業しているが必ず見にくるぞ。遠い人には写真を送ろう」と、心を込めて植えつけるのを広報紙に紹介して一年。うまく咲いてくれるだろうかと思ひながら心配していましたが、九月

一年 栗脇 康伸
あぜ道に花火のような
ひがんな
一年 木村 利恵
秋の顔はほほほと
ひがんな
二年 井手口美由紀
仮眠終え土手に忘れず
ひがんな
二年 坂口 のぞみ
短かくも田んぼのすみ
ひがんな
一年 永嶺 千絵
ひがんな花はなびら散らし
田のあぜに

生活の記録

から

毎日の生活の記録を書いてきます。わすか八行ですが、子ども達や家族の姿など垣間見ることが出来ます。心の交流とともに生徒を見直すことも多いです。一部紹介します。

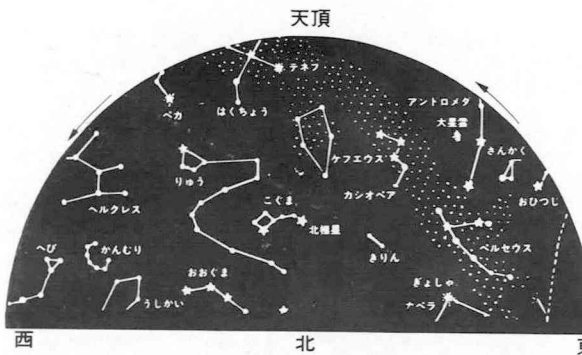
〇夕方、姉と父と僕の三人でバレーを少しした。父は思っていたより上手で、姉は中学の時バレー部にいたので上手でした。僕だけ下手でした。父より下手というのがちょっとくやしかったです。(二年男)

〇きょうは父母とも、鹿兒島に行きいらないので、私が牛の世話をしたり、ごはんを作ったりしました。明日の夜まで帰ってきません。明朝目覚まし時計が鳴ったらしっかり起きよう。(二年女)

〇父と夕食をとりながら話をしていたら成績の話になった。いろいろ父が言いました。たまたま「そうか」「うん」などとシーンと胸に響いてくる言葉もありました。が、最後に父が言ったことは「何でもとにかく一番をめざせ」でした。とにかく一番をめざします。がんばります、父上。(二年男)

秋の星座案内

県立博物館においては、教育普及事業の一環として四季の星座に応じたプラネタリウムの投影を実施しております。期日 九月九日～十一月三十日 場所 県立博物館プラネタリウム室



虫の音とともに、天の川にひたっていた夏の星座も西へ傾き、なんとなくさびしい秋の星座が夜空をおおっています。明るい一等星は少ないですが澄んだ夜空をじっくり見ると二等星、三等星が造る四辺形は、ベガスの大四辺形です。

秋の星座

町内作文コンクールならびに理科作品コンクールが行われました。審査の結果、特選になられた方を紹介します。

〔理科〕

☆植物採集の部

- 〇牧原友子 (田代小一年)
- 〇右田司 (〃二年)
- 〇山崎なつみ (〃四年)
- 〇牧原小百合 (〃四年)
- 〇浜川哲也 (大原小五年)
- 〇田代洋介 (田代小六年)
- 〇中島理恵 (大原小六年)
- 〇坂口操 (〃〃)
- 〇川辺直美 (〃〃)
- 〇牧原真由美 (田代中一年)
- 〇柴立貴美代 (〃〃)

小・中学校各種
作品コンクール結果
(理科・作文)

秋の夜のさがし方

川畑靖之 (大原中一年)
栗原康伸 (〃〃)
西方洋一 (田代中二年)
郷原直美 (〃〃)
☆昆虫採集の部
〇牧福太郎 (田代小四年)
☆貝殻採集の部
〇早瀬裕也 (田代小一年)
〇上ノ原厚生 (田代中一年)
〇神田千春 (大原中一年)
〇安楽さゆり (田代中二年)
☆研究記録の部
〇宮原正美 (田代中一年)
〇井手籠剛 (〃〃)
〇木村利恵 (大原中一年)
☆審査評

〇全体的に観察、研究記録の力作が少ない。
〇植物採集では小学生低学年30種、高学年50種、中学生80種が望ましい。
〇採集した作品の乾燥が足りない。
〇作品を台紙にはる時の工夫が必要。

このような大切な事を自然教室の中では、くわしく指導しています。保護者と児童、生徒の皆さんは、一度参加して採集の仕方、乾燥のさせ方、台紙へのはり方の基本的な方法について学習をしていただきたいと思います。

〔作文・小学校〕 特選

- 〇梅元千春 (大原小一年)
- 〇「せんだいにゆく」
- 〇山下龍二 (田代小二年)
- 〇「ぼうずあたま」
- 〇基さとみ (大原小三年)
- 〇「ピーナツとうふつくり」
- 〇柳田進一 (大原小四年)
- 〇植村浩一朗 (田代小五年)
- 〇「おじいちゃんの入院」
- 〇安楽めぐみ (田代小六年)
- 〇「家建て」
- ☆審査評
- 〇一年生「子どもらしい素直さが出ていた。表現が生き生きしていた。」
- 〇二年生「枚数(千二百字)に達せず少なすぎる作品があった。心情の描写がよく出ていた。」
- 〇三年生「段々く書き出し、結びに注意しよう。」
- 〇四年生「内容的に充実していた。感動の盛り上がりがあった。」
- 〇五年生「題材と主題がしっかりしていた。書き出しが工夫されていた。」
- 〇六年生「場面をよく表現していた。自分が見ている立場で様子がよく説明されていた。」

「作文・中学校」

○川畑靖之（大原中一年）

「杜子春」を読んで

○坂口のぞみ（大原中二年）

「足の手術」

○上ノ原和代（田代中三年）

「親切」

☆審査評

○一年生「マンガ文字を書かないように気をつける。」や「（ ）の正しい使い方に気をつける。」

○二年生「段落と段落のつながりに注意する。敬体文、常体文の使い分けの工夫をする。」

○三年生「推こうを入念にする。体験が題材として生きている作品もあった。」

○全体的に出品作品の中に感想文が少なく淋しかった。

文章表現にとって大切なことは、具体的な表現で書くことである。あまり簡単にまとめすぎると、人によって違った意味に受け取られることもあります。したがって意味のはっきりしないところは、もっと言葉を使ってくわしく書くように気をつけましょう。以上のようなことに気をつけながら書いて下さい。

第十回田代町文化祭開催についてお知らせ

一期日 昭和六十一年十一月二・三日
二主催 田代町文化協会
三会場 田代町開発センター

この文化祭の趣旨は、本庁における芸術文化活動と鑑賞の機会を提示し、町民の文化に対する関心を高め、芸術文化の振興を図ることで実施されます。したがって多くの方々の作品展示や舞台発表をよろしく願います。

尚、作品の展示は次のような内容を数多く出品して下さい。

☆作品の部

生花、書道、文芸作品（詩歌）、文化財、古美術、民芸品、昔の学用品、園芸、観葉植物、社会教育活動、児童生徒作品（作文、習字、絵画、理科作品等）

☆舞台発表の部

合唱、演奏、舞踊、演劇、三味線、詩吟、民謡、太鼓、ダンス、郷土芸能、その他
☆日程（十一月三日）
○九時から 町振興大会式典並びに文化講演
○十一時四十五分より 文化祭オープニング、舞台発表



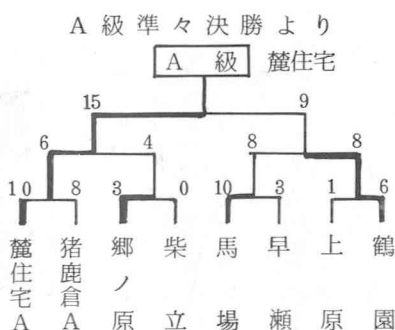
優勝旗を授ける役場Aチーム

ソフトボール協会旗争奪リーグ戦
第五回ソフトボール協会旗争奪リーグ戦が、八月四日から開催されました。五十三日間わたる熱戦の末、A級は役場A、B級ではパイオニアが優勝しました。
結果は、次の通りでした。

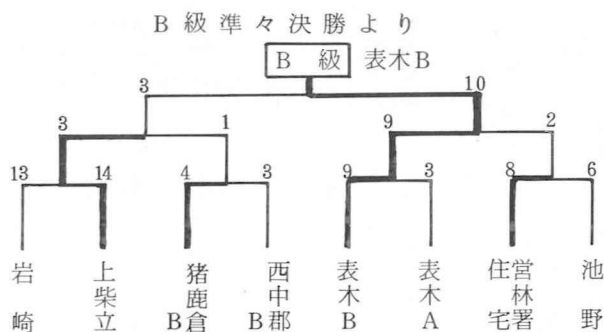
○Aクラス
優勝 役場A（六勝一分）
準優勝 花瀬バツファローズ（五勝二敗）
第三位 フジクラブ（四勝二敗一分）
○Bクラス
優勝 パイオニア（七勝）
準優勝 農協（六勝一敗）
第三位 全林野（四勝三敗）



A級優勝 麓住宅チーム



第十六回小組合対抗ソフトボール大会が九月十四日（日）に中央運動場ほか六会場で開催されました。この大会に四十二チームが参加して早朝から好試合が続きました。結果は次の通りでした。



B級優勝 表木Bチーム

小組合対抗ソフトボール大会四十二チームが参加
A級 麓住宅A
B級 表木B が優勝